

2022年8月31日

各位

株式会社三井住友銀行

住友林業株式会社への「サステナビリティ・リンク・ローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）（以下、「三井住友銀行」）は、住友林業株式会社（代表取締役執行役員社長：光吉 敏郎）（以下、「住友林業」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

住友林業グループは「事業と ESG の一体化」を基本方針として掲げ、国内外で森林経営から木材建材の調達・製造、木造建築、木質バイオマス発電まで「木」を軸とした事業を展開してきました。今後も木の伐採・加工、利用、再利用、再植林という「住友林業のウッドサイクル」を回して森林の CO2 吸収量を増やし、木材の活用で長期間にわたり炭素を固定します。2022年2月には長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定。重要課題に取り組み、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動などに対する価値を提供することで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

本件の SPTs は、CDP（※1）が公表する気候変動スコアを採用しており、住友林業の気候変動に対する戦略、リスク・機会管理、実績等を各ステークホルダーに対して開示することで当該スコアにおいて最高評価を維持することは、住友林業の長期ビジョン達成に近づくと考えています。また、本件では、SPTs 達成への動機付けとして、SPTs の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

（SPTs）CDP 気候変動スコアにおいて A を維持すること

本ローンは、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則（2021年5月改定）」及び環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年版）」に適合していると、三井住友銀行は判断しています。

SMBC グループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2022年8月26日
実行日	2022年8月31日
サステナビリティ・コーディネーター（※2）	三井住友銀行
契約期間	4年

(※1) CDP :

2000年にロンドンで設立した非政府組織。気候変動、水セキュリティ、森林減少リスク等の分野における、企業や自治体のグローバルな情報開示基盤を提供しており、収集した情報は投資家や企業、各国政府に活用されています。

(※2) サステナビリティ・コーディネーター :

サステナビリティ・リンク・ローン組成・設計にあたって、借り手のSPTs設定等の支援を行う機関。

(参考)

住友林業株式会社ホームページ :

<https://sfc.jp/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL : 03-4333-6966

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。